

◆あなたのふるさととは  
東京都小平市かな!?。小平市は、私が18歳まで住んでいたところです。その後は東大和市に転居しています。

◆ふるさととは、どんなところ。また、ふるさとの思い出は  
小平市は、東京都の多摩地域武蔵野にあり、都心から約30キロ、新宿から電車で30分ほどのところです。

私の住んでいた家は、西武多摩湖線一ツ橋学園駅のすぐ近くにありました。一橋、津田塾、武蔵美などの大学のあ



# わたしのふるさと

菅野 民恵さん  
(字東町)

る学園都市です。思い出に残っているのは玉川上水です。江戸時代に生活水として多摩川から運ばれたのですが、私が住んでいた頃にはわずかな水が流れているだけで、上水道のほとりの並木道が皆の散歩コースになっていました。

♪明るく晴れた富士山は  
尊い命そのままに  
映して今日もそびえたち

親しく呼んでいるあの空へ♪  
これは私の母校、小平第4小学校の校歌です。校歌にあるように学校からは富士山が見えました。冬の朝、ランドセルを背負って霜柱を踏んだら、水たまりの氷を割りながら一橋大学の敷地を通り抜け、小学校の校門をくぐると真っ白い富士山が遠くに小さく見えるのです。小さいけれど北斎の絵のように印象的でした。本宮からも安達太良山が見えますが、山って何か守られているような感じがして好きですね。あと小学生の頃の遊び場は、土管や材木が置かれた空き地でした。土管に材木を乗せてシーソーをしたことを覚えています。

◆本宮町にはいつ来ましたが  
住み始めたのは平成3年ですが、初めて本宮を訪れたのは、昭和61年8月。そう、皆さんにとっても忘れられないあの大水害の翌日だったと思

います。結婚前に夫と佐渡島にツーリングに出かけ、帰りに夫の家に来た時でした。床上浸水し、畳が積み重ねられた室内にびっくり。そんな大変な時だったのに笑顔とご馳走でもてなしてもらいました。

◆本宮に住んでみて  
水害の危険はありますが、窓から阿武隈川や安達太良山が見える環境は最高です。夏祭りの花火や秋祭りの太鼓の音色など、四季の風情がある素敵な街です。

本宮に住んでからはPTAや学習ファシリテーターとして地域の皆さんと関わる事ができました。子どもと共に成長させていただきました。



これまでこのコーナーで紹介された方々と同様に、私も本宮が大好きです。人があつたかくて面白いし、のんびりしていて頑張り過ぎない感じがな。市になっても良い人が育つこのままの街であってほしいと願っています。

「広報もとみや」  
発行日が毎月1日に変わります

平成19年から「広報もとみや」の発行日が、これまでの毎月10日から毎月1日に変わります。これにともない、各行政区へお配りする日程は、発行前月の最終水曜日（1日が水曜日の場合は、当月1日）となります。

なお、本宮市の「広報もとみや」創刊号（1月号）については、1月中旬の発行を予定しています。

防災行政無線  
「時報」の時刻変更について

平成19年1月1日から、午後6時の時報については、午後5時に変更となります。それ以外の時報の時刻（午前6時、正午、午後9時）については、変更はありません。

問い合わせ先 庶務課 広報広聴係（☎内線214）

感動を残したい。 感動を伝えたい。

有限会社 モリモト印刷  
〒969-1163 本宮町白川73-1 TEL 34-2967 FAX 34-4171

「広報もとみや」有料広告募集中

◆掲載規格（A4判5段組）  
①1枠…各ページの下1段、②半枠…下1段の2分の1

◆広告掲載料（1回あたり）  
①1枠…20,000円、②半枠…10,000円  
※12カ月連続での掲載となった場合、12カ月目は無料で掲載します。

◆問い合わせ先 庶務課 広報広聴係（☎内線214）